

2006年3月期中間決算説明会

2005年11月1日

日本電気硝子株式会社

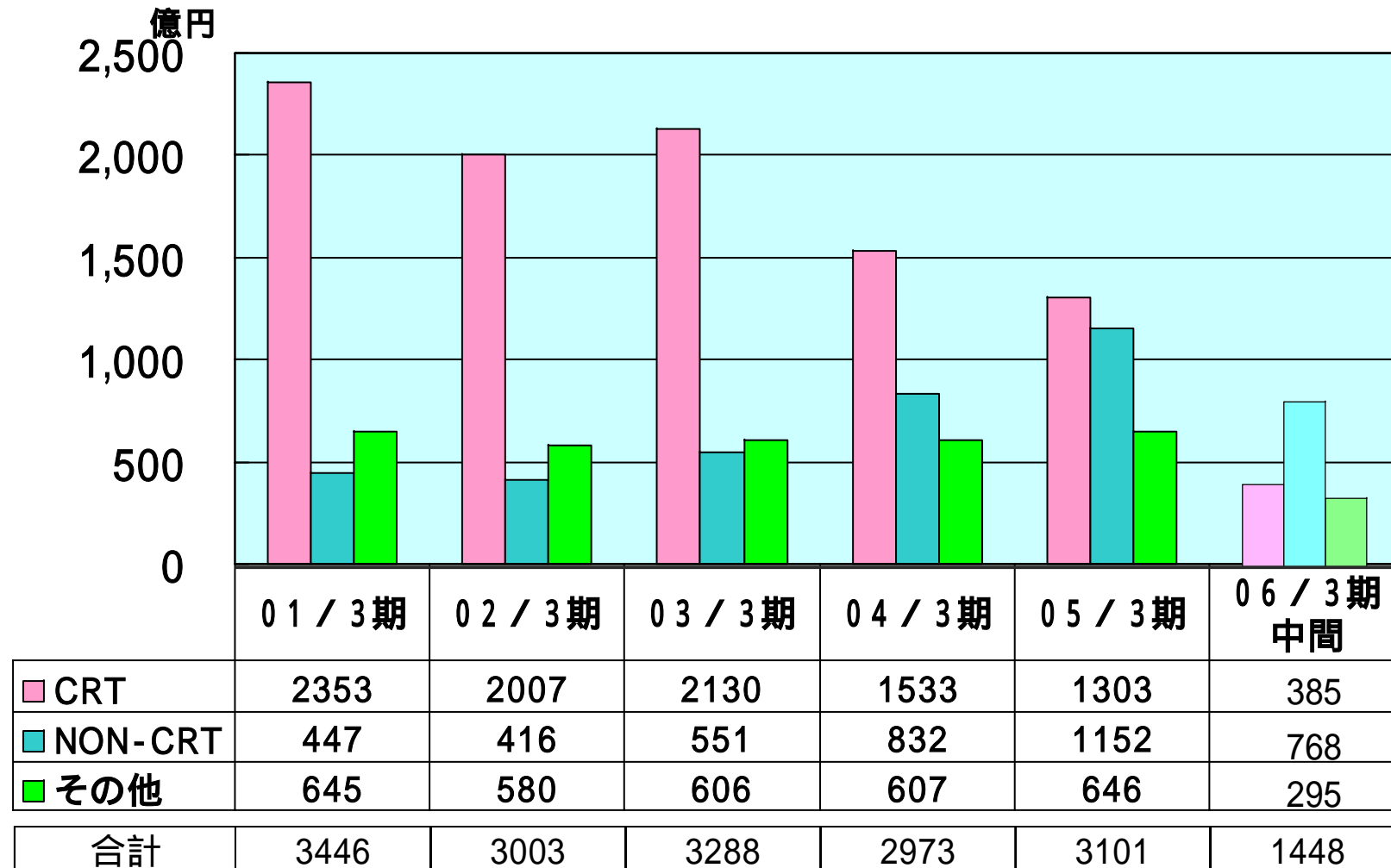
事業構造の転換

市場動向と 当社の施策

	市場	当社の施策
CRT用ガラス	縮小	日・米・欧：生産停止 アジア地域に生産集約
FPD用ガラス	拡大	CRTの経営資源(スペース、ユーティリティー、人)をFPDへシフト・生産拡充(日本：溶解炉増設、韓国・台湾：加工能力拡大)

		03 / 3期	04 / 3期	05 / 3期	06 / 3期
日本国内	CRT	1基休止	2基休止	2基休止	3基休止：05 / 9生産停止
	LCD		1基増設	1基増設	2基増設(うち1基06年春稼働予定)
	PDP			大型炉1基新設	
北米(テクネグラス)		整理・縮小 → 生産停止			
欧州(UK、チェコ)					生産停止・解散(UK) / 合併解消(チェコ)
中国(福建電気硝子)			新設・稼働		
韓国	NEG韓国	<LCD基板加工>	新設(1ライン)	1ライン増設	1ライン増設
	ハジメ電気硝子	<LCD基板加工>		LPLと合併	新設(1ライン - 06年初稼働予定)
台湾(台湾電気硝子)		<LCD基板加工>		新設(1ライン)	2ライン増設

部門別の売上推移



ITバブル → ITバブル崩壊

事業構造転換 →

2006年3月期中間連結決算

06 / 3期中間連結業績(総括)

(単位:億円)

	06 / 3期中間	05 / 3期中間	増減	増減率(%)
売上高	1,448	1,562	113	7.3
営業利益	276	224	52	23.4
経常利益	243	217	25	11.7
中間純利益	65	32	98	-
設備投資額	447	350	97	27.7
減価償却費	131	153	22	14.6
為替レート(円/ドル)	108	109		

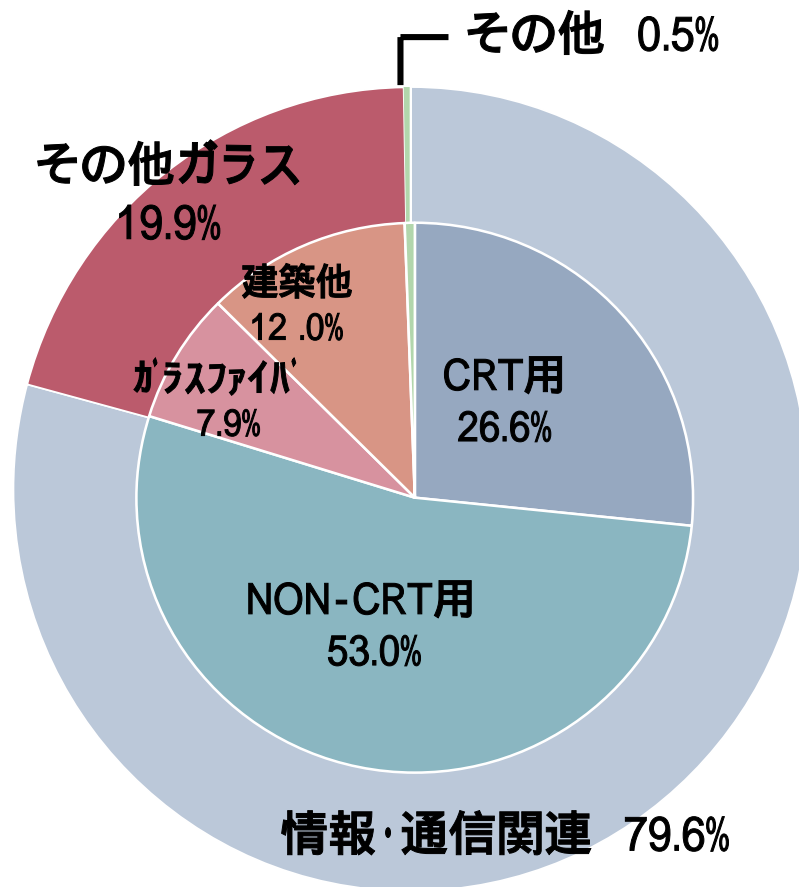
連結売上高(部門別の状況)

(単位: 億円)

	06/3期中間	05/3期中間	増減(%)	
ガラス事業	1,441	1,556	7.3	FPD販売増 < CRT減少
情報・通信関連部門	1,153	1,250	7.7	
CRT用ガラス	385	699	44.9	市場縮小(FPD化進展、得意先撤退)、生産調整、価格下落
NON-CRT用ガラス	768	550	39.5	FPD用ガラス販売増
その他部門	288	305	5.7	
ガラスファイバ	114	119	4.0	自動車樹脂部品用中心に出荷好調 在庫品薄により在庫出荷減
建築・耐熱その他	173	186	6.8	建築用ガラス、蛍光灯用ガラス低調
その他	6	6	7.6	
合計	1,448	1,562	7.3	

連結売上高(売上構成比)

売上構成：06 / 3期中間



情報・通信関連	CRT用ガラス			ディスプレイデバイス用
	NON-CRT用ガラス	LCD用	基板ガラス バックライト用管ガラス	
	PDP用	基板ガラス ガラスペースト		
	光・電子デバイス用	光ファイバ接続用キャピラリー/フェルル 球レンズ/レンズ部品 / 非球面レンズ硝材 CCDカバーガラス 粉末ガラス ダイオード用ガラス		
その他	ガラスファイバ	高機能樹脂用チョップ プリント配線基板用ヤーン 耐アルカリ用Aファイバ		
	建築用他	建築用	ガラスブロック 結晶化ガラス建材 <ネオパリエ> 防火戸用ガラス <ファイアライト> 放射線遮蔽用ガラス	
	耐熱用	超耐熱ガラス <ネオセラム> 耐熱ガラス <ネオレックス>		
	その他	照明用管ガラス 薬事用管ガラス		

連結損益計算書

(単位:億円)

	06/3期中間	05/3期中間	増減	増減率(%)	
売上高	1,448	1,562	113	7.3	
営業利益	276	224	52	23.4	(+)米国子会社の赤字縮小 売上構成の変化 生産性改善・費用削減 販売費(梱包輸送費)減少 (-)原燃料値上がり CRT:生産調整、価格低下
営業外損益	32	6	26		棚卸資産評価損、固定資産除却損、 為替差損益悪化
経常利益	243	217	25	11.7	
特別損益	116	326	209		次ページに内訳記載
税前利益	126	108	235		
法人税等	61	78	140		
少数株主損益	1	2	3		
当期利益	65	32	98	-	

連結特別損益の内訳

(単位:億円)

	06/3期中間	05/3期中間	増減
特別損益	116	326	209
特別利益	44	29	15
前期損益修正益	44	23	20
その他	0	5	5
特別損失	160	355	194
事業整理損失	33	344	310
固定資産除却損	10	8	1
減損損失	113	2	110
その他	4	-	4

停止・廃棄、更新溶解炉の修繕引当金の戻入
 国内CRT用ガラス製造設備の撤去ほか費用、米国子会社追加損失
 上記の溶解炉の残存簿価など
 国内CRT用ガラス製造設備などの減損

連結貸借対照表(資産の部)

(単位:億円)

	05 / 9末	05 / 3末	増減	
流動資産	2,512	2,337	174	営業CFの増加
現金・預金	1,165	979	185	
受取手形・売掛金	729	761	32	
たな卸資産	496	462	33	
その他	121	133	12	
固定資産	2,766	2,617	149	FPD用ガラス設備増設 - 固定資産減損
有形固定資産	2,402	2,282	120	
無形固定資産	14	16	1	
投資その他の資産	349	319	29	
合計	5,279	4,955	323	

連結貸借対照表(負債・資本の部)

(単位:億円)

	05 / 9末	05 / 3末	増減	
負債	2,816	2,626	189	設備関係未払金の増加 単独の所得増
借入金	1,527	1,553	25	
未払金	297	136	160	
未払法人税等	90	12	77	
その他	900	923	22	
少数株主持分	161	153	7	
資本	2,301	2,175	125	
資本金	183	183	-	
剰余金	2,102	2,020	82	
その他	15	28	43	
合計	5,279	4,955	323	

連結キャッシュフロー計算書

(単位:億円)

	06/3期中間	05/3期中間	増減	
税前利益(損失)	126	108	235	
減価償却費	131	153		米国停止、国内減損
減損損失	113	2		国内CRT設備など
事業整理損失	1	252		
売上債権の減少額	50	11		
たな卸資産の増加額()又は減少額	22	42		
仕入債務の増加額又は減少額()	7	8		
その他	6	89		
営業活動によるキャッシュフロー	414	256	158	
固定資産の取得による支出	220	301		
その他	15	10		
投資活動によるキャッシュフロー	204	290	86	
長短借入金の増減	30	54		有利子負債削減
その他	13	13		
財務活動によるキャッシュフロー	43	68	24	
現金等に係る換算差額	19	2		
現金等の増加額	186	100		
現金等の期首残高	979	892		
現金等の期末残高	1,165	792		

2006年3月期通期業績の見通し

連結通期業績予想

(単位:億円)

	05 / 3期	06 / 3期		直近予想値(5月決算発表時) 先行き不透明のため見直しを留保
	通期(実績)	中間期(実績)	通期(予想)	
売上高	3,101	1,448	3,050	市場の縮小傾向続く。需給調整の長期化、 価格低下 FPD市場拡大
CRT用ガラス	1,303	385	900 ↘	
NON-CRT用ガラス	1,152	768	1500 ↗	
ガラスファイバ	235	114	240	
建築・耐熱その他	397	173	400	
その他	12	6	10	
営業利益	511	276	520	
経常利益	492	243	490	特別損失 ・上期～CRT事業整理損/設備減損 ・下期～NEG-UK閉鎖、チエコ合併 解消、退職金制度廃止
特別損益	359	116	370	
当期純利益	119	65	90	

単独業績の概況

(単位: 億円)

	05 / 3期中間	06 / 3期中間	増減(%)	06 / 3期(予想)	
売上高	1,113	1,143	2.7	2300	直近予想値(5月決算発表時) 先行き不透明のため見直しを留保
営業利益	193	252	30.4	390	
経常利益	227	263	16.0	420	
当期純利益	114	97	-	80	特別損失 ・上期～CRT事業整理損/設備減損 ・下期～NEG-UK閉鎖、チェコ合併解消、 退職金制度廃止

1株当り配当金	6円	4円
---------	----	----

株式分割 1:2 (05 / 3 / 10)

8円



分割後基準で1.5円 / 年増配

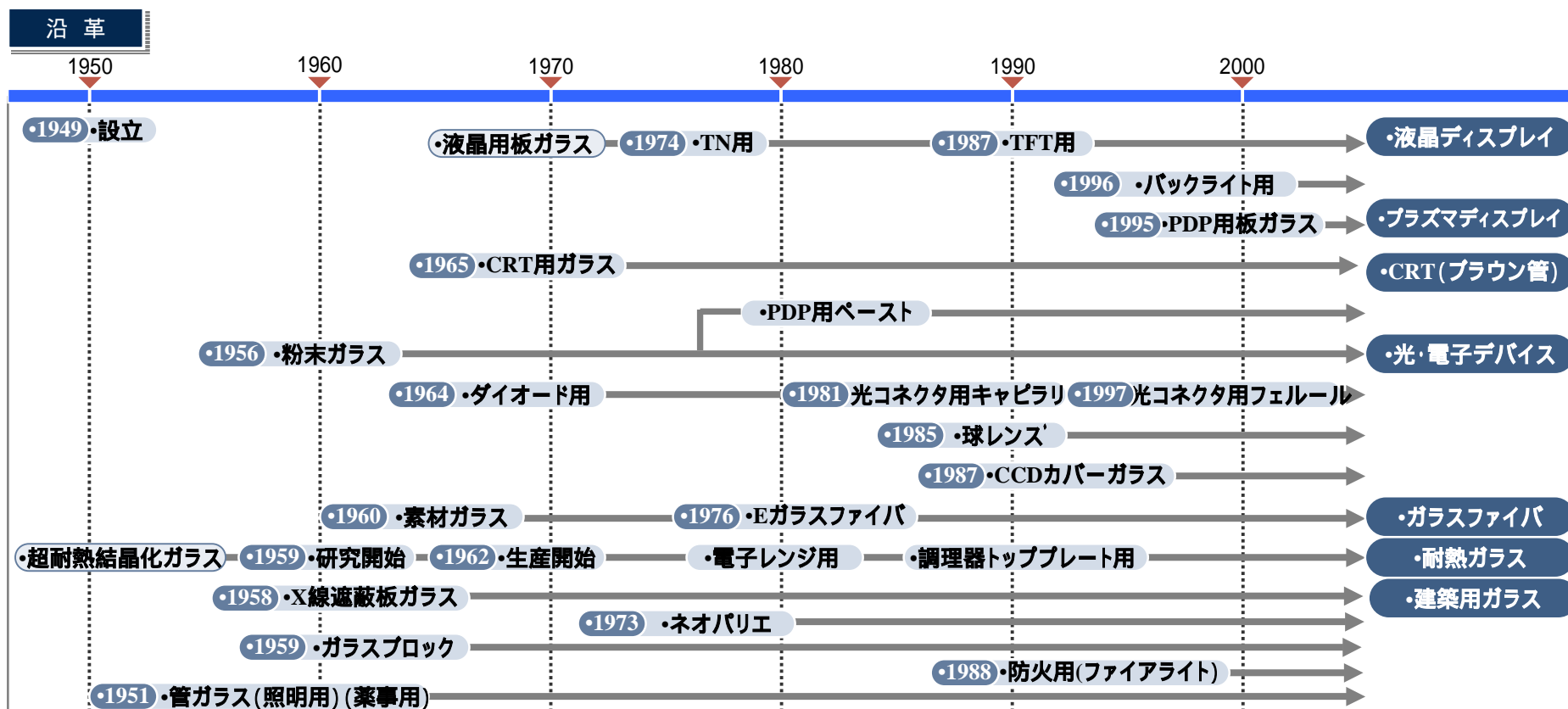
予想に関する留意事項

本資料に記載されている業績見通しは、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいて作成されたものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

(ご参考資料)
会社概要

社名	日本電気硝子株式会社	事業内容	特殊ガラス製品の製造・販売
本社	滋賀県大津市晴嵐二丁目7番1号	事業場	大津 / 滋賀高月 / 能登川 / 精密ガラス加工センター (以上滋賀県) / 藤沢(神奈川県) / 若狭上中(福井県)
創立	1949年(昭和24年)12月1日	連結子会社	25社(国内:12社、海外:8カ国・13社)
資本金	183億円		



1945年の創立以来、ひたすら「特殊なガラス」に取り組み、ニーズに応える製品開発・供給を行ってきました